

公文書館って、何？

「桜井徳太郎文庫」

を「ご存じですか？」

板橋区公文書館には、「桜井徳太郎文庫」が付設されています。

桜井徳太郎文庫は、日本民俗学の大家で、かつ日本宗教史の権威



調べ物をしている桜井先生

である桜井徳太郎駒沢大学名誉教授が、平成12年4月、板橋区に対して寄贈された蔵書など約3万余点の総称です。桜井先生は、第二のふるさと板橋区の文化の発展に寄与したいというご希望から、ご自分の蔵書を板橋区公文書館に託しました。これらの蔵書などはバーコードを用いて図書館方式の分類整理を施しました。現在、桜井徳太郎文庫の蔵書などはすべて板橋区公文書館の閲覧室で利用することができます。

公文書館の所蔵資料とは区別されるこの文庫は、公文書ではなく図書や雑誌で構成されています。主なものは、日本歴史に関する学術史や史料類がもつとも多く約1万1000点、各地の自治体が発行する地方史誌書や学会・大学・研究所発行の機関誌約2000点・民俗学・宗教学・社会学・哲学

思想などの学術単行本約2000点、歴史・民俗学関係雑誌約1万7000点、調査ノート、カード、写真、テープなどもあります。

公文書館では、これらの貴重な文献などの資料を保存・公開すれば、区内外から研究者や学生が集まり、歴史学・民俗学の発展と区の文化水準が高まると考え、桜井徳太郎文庫を開設しました。

桜井先生ご自身も、この文庫を利用するために、しばしば公文書館に足を運んでいらつしやいますので、桜井先生と板橋区の文化と歴史について直接お話できる機会に恵まれるかもしれません。ぜひ一度、ふらりとお立ち寄りください。

■ 公文書館（栄町36ノ1産文ホール7階） ☎3579・2291

〈月曜休館〉